2023年度 分科会・その他活動報告

	1.64 1.11.11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
部会 ビジョン	WPRC部会の活動を通して、WPRCの市場拡大と持続可能な社会の実現に貢献する	
活動方針 及び テーマ	〈活動方針〉WPRCの特性を活かした多回(水平)リサイクル実現により「資源循環モデル」の構築を図るとともに、その意義を広く社会に伝える。 〈テーマ〉 ・分科会活動: 普及広報分科会標準化分科会 ・その他活動: 脱炭素に資する建材設備製品の国際標準化に関する異業種等連携(受託事業)、 政府広報活動、総会・事務局会開催、分科会補佐、各種問合せ窓口(事務局) 	
メンバー 構成	事務局員、関係者(事務局他) ・原則WPRC部会全員参加による。 ・分科会は、リーダー、サブリーダーを中心に活動を進める。 (L:リーダー、SL:サブリーダー)	

活動 テーマ	メンバー(敬称略)	活動内容
普及広報分科会	田口(L)、三浦(SL)、 勝間田、鈴木	■WPRCの普及広報、多回(水平)リサイクルへ向けた基盤整備 多回(水平)リサイクル実現に向けた基盤整備(環境指標WGと連携) ・WPRCの多回(水平)リサイクルを実現するための参考として、環境指標WGと連携し、他業種での先行事例調査を実施した。 ・各社のエコリーフ取得を促進するため、会員各社への説明会を実施した。 WPRCの普及広報 ・英語版ホームページの作成に向けて協議し、掲載内容や構成について検討した。
標準化分科会	橋本(L)、遠藤(SL)、 渡邉	■WPRC・JIS、及び関連認証の啓蒙・管理 【多回(水平)リサイクル効果確認、JIS見直し】 ・エコリーフ・PCRを基に、多回(水平)リサイクルによるCO2排出 抑制効果試算実施。 ・JIS改正時に多回(水平)リサイクルを考慮する場合、検討を要する事項 について事前抽出を実施。 ・カスケード(マテリアル)リサイクルの用途検討実施。

		■省エネルギー等国際標準開発(国際標準分野(新規対応分野))住宅及び建築物の 脱炭素化等に資する建材・設備製品(グリーン建材・設備製品)に関する国際標準化
その他 活動	受託事業参加企業	・インドネシア、ベトナム、タイ、シンガポール、オーストラリアの 5カ国をターゲット国とすることを決定。
	(LIXIL、フクビ化学工業	・ISO の国際会議へ出席。
	ミサワホーム、文化シヤッター)	・ベトナム VIBM 訪問し、ISO 規格に対する意見聴衆やPRを実施。
		・アセアン標準化・品質管理諮問評議会(ACCSQ)を活用し ISO 規格に対する 意見聴衆やPRを実施。
		・普及促進ターゲット5カ国の WPRC 市場の実態/当該国の製品実態、WPRC規格、 ISO20819-2 が策定されたことによる影響について調査を実施。
	深川(建産協事務局)	■政府広報活動(建産協連携)
	中沢(部会事務局)	・ジャパンホーム&ビルディングショー (JHBS)出展
		■総会·事務局会開催、分科会·環境指標WG補佐、各種問合せ窓口
		・JIS関連等の技術的問い合わせに対応